

第 365 回 昭和の森自然観察会

秋の虫と仲良くなろう「トンボ」

萩 将勝(千葉市)

日 時：2022年9月11日(日) 10～12時 天気：曇り

参加者：21名(大人12名 子ども9名)

担当指導員：山下(美) 萩 指導員6名、管理事務所1名

曇り空なので、暑くもなく、観察会にはちょうど良い温度。開始を待つ間、用意しておいた、キアゲハ幼虫、カブトムシ幼虫、タマムシ、スズメバチを見てもらう。

今日の参加者は、21名、最初に注意事項を話し、2つの班に別れ開始です。

網の使い方を説明し、出発です。早速植え込みでアカボシゴマダラを見つけ網をかぶせるが、植込みの下に入り込み捕れません。滑り台の方向に向かって行きます。この広場ではショウリョウバッタ、シオカラトンボ、ノシメトンボを見つけます。植え込みと、林の間を進みます。ノシメトンボが、多くの枝の先に止っています。下見の時、笹の葉にぶら下がっている、チョウの蛹(ヒカゲチョウ?)、今日は、すでに抜け殻に。滑り台の脇を歩きます。オンブバッタ、エンマコオロギ、中菖蒲田に。皆が捕まえてくるトンボはみんなノシメトンボ、菖蒲田の木道でやっとオオシオカラトンボに出会います。お腹の大きなナガコガネグモ、クモの網にかかったトンボを見つけます。田んぼわきのベンチで、昨日の田んぼ教室で捕まえたヤゴを観察、イトトンボの仲間のヤゴ、トンボの仲間のヤゴとの違いを見ます。また各自捕まえたトンボを手にとってもらい、トンボの体の特徴を見てもらいます。そして、先ほど捕まえたクモの体と比較しました。

睡蓮の池のほつりを歩くと多くのイナゴが飛び立ちます。田んぼの反対側を進みます。クサギの花と、葉っぱの匂いを嗅いでもらいます。その落差の大きいこと。中菖蒲田に向かう途中、お子さんが、桑の葉の裏にオオトリノフンダマシを見つけます。皆興味津々で見つめます。最後に中菖蒲田でオニヤンマ?の飛ぶ姿を見て、引き返しました。今日見られたトンボは、2班(コノシメトンボ、ナツアカネ)と合わせて、6種類ですが、色々珍しい虫たちも見られ、初秋のひと時、皆さん十分楽しんだようです。最後に、今日、お手伝いしていただいた指導員の皆様、事務所の方、ありがとうございました。



網の使い方を説明



ヤゴを観察